

12 つくる責任
つかう責任

食べられるのに捨てるなんてもったいない！

食品ロスを減らそう

食品ロスとは、本来まだ食べられるのに捨てられている食品のこと。

ID 1012949

日本では、年間570万トンの食品ロスが発生し、そのうち約半分は家庭から出ています。日本人1人当たり換算すると年間約45kg、毎日お茶碗1杯分の食べ物を捨てていることになります。

食べ物を捨てるなんて、もったいない！食品の使い切り、料理の食べ切りを徹底して、食品ロスを減らしましょう。

ごみ減量課 ☎ (632) 2413

家庭

でできる食品ロスの削減

「フードドライブ」をご利用ください！

ID 1021295

買い物・外食編

- ▼お出掛け前に冷蔵庫などを確認し、買うものを決めておく。
- ▼必要な時に、必要な量だけ購入する。
- ▼新鮮なうちに冷凍しておく。
- ▼ハーフサイズメニューを利用するなど、食べ切れる分だけ注文する。

調理・食事編

- ▼食べ切れる分だけ作ること、食べ残しをしないようにする。
- ▼残った食品はリメイクするなど、献立や料理方法を工夫する。料理のリメイクなど、詳しくは、1ページをご覧ください。

フードドライブとは、家庭で余っている食品を職場などに持ち寄り、地域の福祉団体や施設などに寄贈する活動です。

市役所へお越しの際はぜひ食品をお持ち込みください。

■受付食品 賞味・消費期限が2カ月以上残っているもので、常温保存が可能な食品。

▼例 米・レトルト食品・缶詰・乾麺・調味料など。

■受付場所 ごみ減量課（市役所12階）。

■受付時間 午前8時30分～午後5時15分（土・日曜日、祝休日は除く）。

ID 1028927

トピック

宇都宮市 カーボンニュートラルの実現に向けた基本方針を策定しました

本市では、2050年カーボンニュートラル(*)の実現に向け、下の記事のような基本方針を策定しました。

カーボンニュートラルの取り組みは、快適な住環境や健康的なワークライフバランスの実現など、生活の質の向上にもつながるものです。

「かえる」「つくる」「育てる」の3つのアクションを

行し、カーボンニュートラルなまち「うつのみや」を実現しましょう。

まずは、今日から「かえる」第一歩として、食品ロスや、減らせるごみはないか、分別方法や買い物の無駄をもう一度見直してみましょう。

環境政策課 ☎ (632) 2403

宇都宮市 カーボンニュートラルの実現に向けた基本方針

「ネットワーク型コンパクトシティ(NCC)」を基盤とし、

「もったいない」のこころのもと、「ひと」「もの」「まち」を大切にしながら、

将来世代に残すことができる持続可能なまちをつくるため、

かえる つくる 育てる の3つのアクションを実行し

カーボンニュートラルなまち「うつのみや」を実現しよう

今月は「かえる」の第一歩として、食品ロスを減らしましょう！

カーボンニュートラル実現のための3つのアクション

大胆に！ かえる

温室効果ガスが日常のあらゆる場面から排出されていることを意識して、脱炭素型のライフスタイル・ワークスタイルへ日々の行動を変えよう。

今日からはじめる第一歩

- 通勤やお出掛けに公共交通を使ってみよう。
- 適度な冷暖房で、気候に合わせて快適に過ごそう。
- 減らせるごみはないか、分別方法や買い物の無駄をもう一度見直そう。

もっと！ つくる

環境に優しい再生可能エネルギーをつくり、そして使おう。

今日からはじめる第一歩

- 住宅や社屋などへの太陽光発電設備や蓄電池の導入を考えてみよう。
- 電力契約を、環境に優しい再エネメニューに切り替えてみよう。

みんなで！ 育てる

脱炭素社会にふさわしいまちになるために、本市の資源であるNCC・人材・緑・技術・パートナーシップなどをさらに育て、活用しよう。

今日からはじめる第一歩

- 住み続けられるまちにするために学び、考え、地域の活動に参加してみよう。
- 暮らしに緑を取り入れてみよう。

* 2050年までに、日常生活・経済活動に伴う二酸化炭素などの温室効果ガスの「排出量」から、植林や森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、その合計を実質的にゼロにすること。